

若シ官ノ記號極印ヲ偽造又ハ盜用シタル時
ハ偽造官印各本條ニ照シ重キニ從テ處断ス

第二百六十一條 偽造變造ノ典セヌト雖モ情
ヲ知テ其尺度量衡ヲ販賣シタル者ハ前條ノ
刑ニ照シ一等ヲ減ス

第二百六十二條 商賈工匠定規ヲ増減シタル
尺度量衡ヲ所有シタル者ハ一月以上三月以
下ノ重禁錮二處以上二十日以下ノ罰金二處ヲ處
ス

其囑託ヲ受テ偽造變造シタル者亦同シ
若シ其尺度量衡ヲ使用シテ利ヲ得タル者ハ
詐欺取財ヲ以テ論ス

第八節 官名徽章ヲ借用シ身分ヲ詐稱

第二百六十三條
人ノ囑託ヲ受
テ度量衡ヲ
偽造又ハ變
造シタル者
造シタル者
託者ノ刑ニ照シ
各一等ヲ減ス

後

第二百六十三條 官職位階詐稱シ又ハ官服及ヒ
官ノ徽章若クハ内外國ノ勲章ヲ公然借用シ

タル者ハ十五日以上二月以下ノ輕禁錮二處ニ圓
以上二十圓以下ノ罰金二處ヲ處ス

第二百六十四條 官署ニ對シ文書又ハ言語ヲ
以テ其族籍身分姓名年齢職業ヲ詐稱シタル
者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第九節 公選ノ投票ヲ偽造スル罪
第二百六十五條 公選ノ投票ヲ偽造シ又ハ其
數ヲ増減シタル者ハ三月以上一年以下ノ輕

禁錮二處以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス
第二百六十六條 投票ヲ檢査シ又ハ其數ヲ計算

前

スル任アル者其故投票ヲニ偽造若クハ増減シタル時ハ二年以上五年以下ノ輕禁錮二十回以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百六十七條 投票ノ約局ニ於テ偽造若クハ増減シタル者其數ヲ増減シ其他詐偽ノ所為アル時ハ二年以下ノ輕禁錮ニ處ス五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第六章 一般ノ健康ヲ害スル罪
第六節 阿片烟ヲ販賣スル罪

第二百六十三條 阿片烟ヲ販賣スル者ハ無期徒刑ニ處ス又ハ之ヲ販賣シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第二百六十四條 阿片烟ヲ輸入シ及ヒ製造シ又ハ之ヲ販賣シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第二百六十五條 阿片烟ヲ販賣スル者ハ無期徒刑ニ處ス又ハ之ヲ販賣シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第二百六十六條 阿片烟ヲ吸食スルノ器械ヲ輸入シ及ヒ製造シ又ハ之ヲ販賣シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

輸入シ及ヒ製造シ又ハ之ヲ販賣シタル者ハ重懲役ニ處ス

第二百七十一條 阿片烟ヲ吸食スル為ノニ房屋ヲ給與シテ利ヲ圖ル者ハ重懲役ニ處ス

第二百七十二條 阿片烟ヲ吸食スル者ハ重懲役ニ處ス又ハ之ヲ販賣シタル者ハ重懲役ニ處ス

第二百七十三條 現ニ阿片烟ヲ吸食シタル者ハ重懲役ニ處ス又ハ之ヲ販賣シタル者ハ重懲役ニ處ス

第二百七十四條 阿片烟又ハ吸食ノ器械ヲ所

有シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス又ハ之ヲ販賣シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

第二百七十四條 外國人内國港内ニ一時碇泊

中上陸シテ阿片烟ヲ吸食シ又ハ其器械ヲ携
帶シタル者ハ警察官吏ヨリ之ヲ本艦ニ逐還
シ其官吏又ハ艦長ノ検査ヲ受ルニ非サレハ
再上陸スルヲ聽サス
若シ碇泊中再ヒ犯シタル者ハ本艦解纜ノ日
ニ至ルマテ之ヲ繫獄ス

第二百七十四條 飲料ノ淨水ヲ汚穢スル罪

第二百七十五條 故意又ハ以テ衆人ノ飲料ニ供
スル淨水ヲ汚穢シ因テ之ヲ用フルヲ能ハサ
ルニ至ラシメタル者ハ入獄セヌト雖モ十
一日以上一月以下ノ重禁錮ニ付シ
下ノ罰金ニ付シテ處ス
第二百七十六條 人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ

用ヒテ水質ヲ變シ又ハ腐敗セシメタル者ハ
一月以上一年以下ノ重禁錮三圓以上三十圓
以下ノ罰金ニ付シテ處ス

第二百七十七條 前條ノ罪ヲ犯スニ因テ人ヲ

シテ疾病ニ罹リ又ハ死ニ至ラシメタル者ハ
第二百七十八條 例ニ照シ重キニ從テ處断
ス

若シ人ヲ殺スノ意ニ出タル者ハ毒殺ヲ以テ
論ス

第三節 傳染病豫防規則ニ背スル罪

第二百七十九條 外國地方ヨリ入港シタル船

船乗載スル者傳染病豫防ノ為メ一時禁止
シタル規則ニ背キ上陸又ハ物品ノ陸揚ヲ為

シタル時者一月以上一年以下ノ輕禁錮十圓
以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス又八十圓以上百圓以下罰金ニ處ス

第二百七十九條 船長士官自ラ前條ノ罪ヲ犯シ又ハ人ノ犯スヲ知テ禁止セザル者ハ前條ノ刑ニ照シテ一等ヲ加フ其懈怠ニ因リ人ヲ傷シテ之ヲ犯スニ至

スルハ又ハ七時ハ前條ノ刑ニ照シテ一等ヲ加フ此規則ヲ監察スル人任ヌル官吏懈怠ノ罪ナ

ル時亦同シ
第二百四十條 傳染病流行ノ際ニ當リ豫防規則ニ背キテ流行地方ヨリ他處ニ出タル者ハ

十五日以上六月以下ノ輕禁錮五圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

若シ官吏ノ懈怠ニ因リ人ヲ傷シテ其規則ヲ犯スニ至ラシメタル者ハ一等ヲ加フ

第二百四十一條 獸類ノ傳染病流行ノ際豫防規則ニ背キテ獸類ヲ他處ニ出シタル者ハ十

一日以上二月以下ノ輕禁錮二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

獸類ノ看守人此罪ヲ犯シタル時若シ所有主ノ教令ニ出タルノ證アル者ハ本刑ヲ其所有

主ニ科ス
第四節 危害品及ヒ健康ヲ害ス可キ物

品製造ノ規則ニ関スル罪
第二百四十二條 官許ヲ得スレテ危害ヲ生ス

可キ物品ノ製造所ヲ創設シタル者ハ二十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

若シ健康ヲ害ス可キ物品ノ製造所ヲ創設シ

タル者八十圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス
第百八十三條 官許ヲ得テ前條ニ記載シタル製造所ヲ創設スト雖モ危言ヲ豫示シ一般ノ安寧健康ヲ保護スル規則ニ背キタル者ハ前條ノ刑ニ照シ各一等ヲ減ス

第百八十四條 前二條ノ罪ヲ犯スニ因テ人ヲ死傷疾病ニ致シタル時ハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處断ス

第五節 埋葬規則ニ関スル罪

第百八十五條 官許ノ墓地外ニ於テ私ニ死屍ヲ埋葬シタル者ハ十日以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス但危急ノ事故アリテ已ムコトヲ得ス一時假葬シ後ニ官署ニ申告シタル者ハ其

罪ヲ論セス

第五節 健康ヲ害ス可キ飲食物及ヒ藥劑ヲ販賣スル罪

第二百八十六條

人ノ健康ヲ害ス可キ物質ナルコトヲ知テ之ヲ飲食物品ニ混和シテ販賣シ其物品ヲ改修ス三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

此條ノ罪ヲ犯シタル者ハ其物品ヲ没收シ裁

判宣告書ヲ榜示公告シ且之ヲ新聞誌上ニ登記セシム但登記ノ費用ハ之ヲ犯人ニ科ス

第二百八十七條

賣藥規則ニ違背シテ毒質劇ノ販賣シタル者ハ四圓以上四十圓以下

ノ罰金ニ處ス

若シ賣藥ノ免許ヲ受サル者前項ノ罪ヲ犯シ

タル時ハ一等ヲ加フ

第二百八十六條 前二條ノ罪ヲ犯スニ因テ人

ヲ死傷^{疾病}致シタル時ハ過失殺傷ノ^{各本條}照シ

重キニ從テ處断ス

第七六節 私ニ醫術ヲ^為行ハス罪

第二百八十九條 官許ヲ得スシテ平常醫術ヲ

行ヒタル者ハ其謝料ヲ受ルト否トヲ分ツス

十一日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ五

圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百九十八條 前條ノ犯人治療ノ方法ヲ誤リ

因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ過失殺傷ノ^{各本條}例

ニ照シ重キニ從テ處断ス

第七章 一般ノ風俗ヲ害スル罪 教法ニ對

スル不敬ノ罪

第二百九十九條 公然猥褻ノ所行ヲ為シタル

者ハ十五日以上二月以下ノ重禁錮^{二處}二圓以上

二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百零二條 風俗ヲ害スル冊子圖畫其他

猥褻ノ物品ヲ公然陳列シ又ハ販賣シタル者

ハ十一日以上一月以下ノ重禁錮^{三處}三圓以上三

十圓以下ノ罰金ニ處ス

其密賣シ又ハ貸貸シタル者ハ三圓以上三十

圓以下ノ罰金ニ處ス但其物品ハ沒收シテ之

ヲ破毀ス

第三百零三條 賭場ヲ開張シテ利ヲ圖ル者

ハ一^月以上三月以下ノ重禁錮^{二處}五圓以上五十

圓以下百圓以下罰金ニテ處ス

第二百九十四條 公然財物ヲ賭シテ現ニ博奕

ヲ為シタル者ハ十五日以上二月以下ノ重禁

錮三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處シ現場

以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加シ現場ノ器具財物ヲ没収ス但シ賭物ヲ没収ス但シ賭物ヲ没収ス但シ賭物ヲ没収ス

其罰金ヲ賭スル者ハ其罪ヲ論セス若シ情ヲ知テ房屋ヲ給與シタル者ハ等ヲ減ス

第二百九十五條 許多ノ財物ヲ曠集シ富籤ヲ

以テ利益ヲ僥倖スルノ業ヲ興行シタル者ハ及

共幫助ヲ為シタル者ハ一月以上三月以下ノ

重禁錮五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百九十六條 神祠佛堂墓所其他禮拜所ニ

於テ其宗教ニ對シ公然不敬ノ所行ヲ為シタル者ハ十一日以上二月以下ノ重禁錮二圓以下ノ罰金ニ處ス

上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

教徒ノ説教又ハ宗徒ノ禮拜ヲ妨害シタル者

ハ一月以上三月以下ノ重禁錮五圓以上四十

圓以下ノ罰金ニ處ス

若シ數人連合シ又ハ他宗ノ教徒此條ノ罪ヲ

犯シタル時ハ各一等ヲ加フ

第二百九十七條 墳塚ヲ發掘シテ棺槨見ハ

シ又ハ死屍ヲ見ハシタル者ハ三月以上三年

以下ノ重禁錮五圓以上二十五圓以下ノ罰金

ニテ處ス

若シ死屍ヲ殘毀シ又ハ他所ニ移棄シタル者

ハ二年以上五年以下ノ重禁錮十圓以上五十

圓以下ノ罰金ニ處ス

此條ノ罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ
未遂犯罪ノ例ニ照シテ處断ス

第二章 商業及ヒ製造ノ自由ヲ妨害スル

罪

第二百九十六條 暴行^{又ハ偽計}ヲ以テ穀類其他衆

人ノ需用ニ缺ク可カラサル食用物及ヒ膏油

薪炭木材ノ運輸賣買ヲ妨害シタル者ハ一月

以上六月以下ノ重禁錮^{五圓以上二十五圓以}

下ノ罰金^{ヲ附加ス}

前項ニ記載シタル以外ノ商品賣買ヲ妨害シ

タル者ハ一等ヲ減ス

第二百九十九條 暴行^{又ハ偽計}ヲ以テ糶賣^{又ハ請負}其他

請負ソ入札ヲ為シタル者ハ十五日以上三月以下ノ重禁錮^其

○第三百六十八條 暴行^{又ハ偽計}ヲ以テ工業ヲ妨害シタル者ハ二十日以上五月以下ノ重禁錮^{二十日以下罰金ヲ附加ス}

糶賣ハ^ニ札^{以テ}妨害^ニ計^{以テ}以下ノ者ハ十五日以上三十

日以下ノ重禁錮^{五圓以上五十圓以下ノ罰金}

ニ處ス

○第三百六十九條 職工及ヒ工長其雇賃ヲ増サシメ又

ハ製造商業ノ景況ヲ變セシムル為^ニ他ノ職

工^{又ハ}暴行^{又ハ偽計}ヲ以テ製造主及ヒ他ノ職工^ニ對シ

テ^ハ暴行^{又ハ偽計}ヲ以テ製造主及ヒ他ノ職工^ニ對シ

テ^ハ暴行^{又ハ偽計}ヲ以テ製造主及ヒ他ノ職工^ニ對シ

○第三百七十條 製造主

ヲ命シタル者雇賃ヲ減セシメ又ハ工作ノ景

況ヲ變セシムル為^ニ職工及ヒ他ノ製造主ニ

對シ暴行脅迫ヲ以テ妨害ヲ為シタル時ハ十

○第三百七十條 製造主
又ハ工業ノ景況ヲ變セシムル為^ニ職工及ヒ他ノ製造主
ヲ命シタル者雇賃ヲ減セシメ又ハ工作ノ景況ヲ變セシムル為^ニ職工及ヒ他ノ製造主
對シ暴行脅迫ヲ以テ妨害ヲ為シタル時ハ十

第三百七十一條 虚偽ノ
説ヲ流布シテ穀類其他
衆人需用物品ノ定價
昂低セシメタル者ハ十
日以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

五日以上三月以下ノ重禁錮五圓以上五十圓

以下ノ罰金ニ處ス

第三百七十二條 前數條ノ罪ヲ犯スニ因テ其物件

ヲ毀壞滅盡シタル時ハ毀壞ノ本條ニ照シ重

キニ從テ處断ス

第三百三條 虚偽ノ風説ヲ流布シ其他偽計ヲ

以テ穀類其他衆人需用物品ノ定價ヲ昂低セ

シメタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處

ス

第九章 官吏瀆職ノ罪

第一節 官吏公益ヲ害スル罪

第三百四條 官吏故意ヲ以テ自己ノ職務ニ係

ル法律規則ヲ布告施行セス又ハ他ノ官吏公

告施行ヲ妨害シタル者ハ二月以上六月以下
ノ輕禁錮十圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處

ス

若シ官吏二人以上通謀シテ此罪ヲ犯シタル

時ハ一等ヲ加フ

第三百五條 兵隊要求シ及ヒ之ヲ使用スルノ

權アル官吏地方ノ騷擾其他兵權ヲ以テ鎮撫

ス可キ時ニ當リ故サラニ其處分ヲ為サ、ル

者ハ六月以上二年以上五年以下ノ輕禁錮二十圓以上

百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百六條 前條ノ官吏其職務ニ關シテ法律規

則於テ施行シ又ハ為シタル者ハ二十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ

處ス但シ自己所有地内ノ生産物ヲ販賣スル者ハ高價ヲ為ス

此ヲ以テ論スルヲ得ル
ル時ハ内乱ヲ以テ論シ第百三十五條ノ例ニ
照シテ處断ス

第三百七條 官吏二人以上通謀シテ職ヲ退キ
故サラニ公務ノ成就ヲ妨害シタル者ハ一月
以上三月以下ノ輕禁錮三回以上三十回以下
ノ罰金ニ處ス

第三百八條 官吏其職務ヲ停止セラレタルノ
際仍ホ自己ノ名分ヲ以テ其職務ヲ行ヒタル
者ハ一月以上六月以下ノ輕禁錮五回以上三
十回以下ノ罰金ニ處ス

第三百九條 各地方ノ官吏其管轄内ニ於テ穀
物生絲蠶種及ヒ膏油薪炭木材ヲ販賣スルノ
商業ヲ為シタル者ハ自己ノ名稱ヲ以テシ他

人ノ名稱ヲ以テスルヲ分タス五十回以上五百
圓以下ノ罰金ニ處ス但自己所有地内ノ生産
物ヲ販賣スル者ハ商業ヲ為スヲ以テ論スル
ヲ得ス

第二節 官吏人民ニ對スル罪
第三百十條 官吏其官權ヲ以テ人ヲ要シ其為
ス可キ權

行フヲ妨害シタル者ハ十一日以上二月以
下ノ輕禁錮二回以上二十回以下ノ罰金ニ處
ス
第三百十七條 逮捕官吏法律ニ定メタル程
式

規則ヲ守ラズシテ現行犯ニ非サレ人ヲ逮捕
シ又ハ逮捕セシメタル者ハ十五日以上三月

第三百七十六條ノ身
妨害スル犯人アルニ
對シテ
速ニ保護スルハ其
十五日以上三月以下
ノ輕禁錮ニ處ス
如シ三回以上二十回
以下ノ罰金ニ處ス

以下ノ重禁錮ニ付シテ以上二十圓以下ノ罰金ヲ處スルニ付シテ拘留ノ日數十日ヲ過ルニ至ラザル者ハ

第三百七十八條 逮捕官吏ハ其逮捕宣告書ヲ正視シテ之ヲ拘置シテ程式規程則テ守テ之ヲ施行スル者拘置シテ之ヲ監禁スルハ其刑罰ニ付テハ各本條ニ照シテ其期限ヲ加ヘテ之ヲ放免セサル者ハ亦前條ノ例ニ同シ

第三百七十九條 司前獄官吏ノ其裁判宣告書又ハ對シテ當ノ所為ヲ留置シテ其他ノ命ヲ加ヘテ書テ檢査視セシテ其期限ヲ三ノ倍ニ至ラザル者ハ亦前條ノ例ニ同シ

第三百八十四條 司獄官及囚人ノ其出獄ノ時ニ至ラザル者ハ亦同シ

若シ被告人ニ傷害ヲ加ヘタルハ毆打創傷本條ニ照シテ三等ヲ加ヘキニ從テ之ヲ斷ス

第三百八十五條 擲物ニシテ人ノ身體ニ傷ヲ加ヘタル者ハ其故意ニ出シタル者ハ其刑罰ニ付テハ

第三百八十六條 裁判官ノ檢査及シテ警察官及官吏被シテ之ヲ對シテ罪狀ヲ陳述シ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ付シテ之ヲ放免セサル者ハ亦同シ

第三百八十七條 因テ被告人ニ傷害ヲ加ヘタル時ハ毆打創傷ノ罰金ニ處ス

因テ被告人ニ傷害ヲ加ヘタル時ハ毆打創傷ノ罰金ニ處ス

ニ處ス

其被告人ヲ陷害シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮四十回以上百回以下ノ罰金ニ處ス若シ其枉断シタル所ノ刑此刑ヨリ重キ時ハ第二百五十四條第二百五十五條ノ例ニ照シテ反坐ス

第三百二十一條 裁判官參坐財物ヲ收受聽許セスト雖モ情ニ徇カヒ又ハ怨ヲ挾サンテ故サラニ被告人ヲ罪ニ出入シタル者ハ前條ニ記載シタル曲庇陷害ノ刑ニ處ス

第三百二十二條 裁判官參坐及ヒ仲裁人ニ財物ヲ贈遺ヲ約シタル者ハ前數條ニ記載シタル區別ニ從ヒ收受聽許シタル者ト同刑ニ處ス

第三百二十三條 裁判官參坐及ヒ仲裁人ノ收受シタル財物ハ之ヲ沒收ス已ニ費用スル者ハ其價ヲ追徴ス

第三百節 官吏財産ニ對スル罪
第三百三十七條 官吏自ラ監守スル所ノ金穀物件ヲ竊取シタル者ハ竊盜ノ刑ニ照シニ等ヲ加フ

若シ此罪ヲ犯スニ因テ官ノ文書簿冊ヲ偽造シタル時ハ又ハ毀壞シタル時ハ偽造ノ條ニ照シテ重キニ從テ處断ス

第三百三十五條 監守ニ非サル官吏及ヒ官署ノ使丁其官署ニ屬スル金穀物件ヲ竊取シタ

ル者ハ竊盜ノ刑ニ照シ一等ヲ加フ
 第三百二十六條 政租稅及其他官署ノ收入額ヲ領取
 稅其他諸般ノ額ヲ領取スルノ任アル官吏
 私利ヲ圖テ故サラニ正數ノ外、許多ノ金穀ヲ
 領取シタル者ハ自ラ求索スルト否トシ分々
 ス三月以上三年以下ノ重禁錮ニ五圓以上五十
 圓以下ノ罰金ニ處ス

第三編 人ノ身體財產ニ對スル重罪輕罪

第一章 身體ニ對スル罪

第一節 謀殺毒殺故殺ノ罪

第三百十七條 豫メ謀テ人ヲ殺シタル者ハ

謀殺ノ罪ト爲シ死刑ニ處ス

第三百十八條 豫メ謀シテ、死ニ致ス雖モ故意
ヲ施シテ支解折割其他慘毒ノ所爲ヲ極メ人ヲ

殺シタル者ハ謀殺ヲ以テ論シ死刑ニ處ス

第三百十九條 死ニ致ス可キ毒物ヲ施用シ

テ故意ヲ以テ人ヲ殺シタル者ハ、故殺ノ罪ト爲

シ死刑ニ處ス無期徒刑ニ處ス

第三百二十四條 重罪輕罪ヲ犯スニ便利ナル為

メ又ハ已ニ犯シテ逃亡若シテ其刑ヲ免

第三百三條支
 解折割其他
 人ヲ故殺シタル
 者ハ死刑ニ處ス

カル、為メキニ共ヲ犯者殺シタル者ハ、又九日分
ス並ニ死刑ニ處ス

第百五十一條 前數條ニ記載シタル罪ヲ除
ク外故意ヲ以テ人ヲ殺シタル者ハ無期徒刑
刑ニ處ス但本條別ニ刑名ヲ掲ケタル者ハ此
限ニ在ラズ

第百五十二條 人ヲ殺スノ意ニ出テ詐稱誘
導シテ危害ニ陷レ死ニ致シタル者ハ故殺ヲ
以テ論シ其豫メ謀ル者ハ謀殺ヲ以テ論ス

第百五十三條 謀殺故殺ヲ行ヒ誤テ他人ヲ
殺シタル者ハ仍ホ謀故殺ヲ以テ論ス

第二節 殴打創傷ノ罪

第百五十四條 故意ヲ以テ人ヲ殴打創傷シ

因テ死ニ致シタル者ハ重懲役ニ處ス

第百五十五條 故意ヲ以テ人ヲ殴打創傷シ

其兩目ヲ瞎シ兩耳ヲ聾シ又ハ兩肢ヲ折リ及

ヒ舌ヲ断チ陰陽ヲ毀敗シ若クハ知覺精神ヲ

喪失セシメ篤疾ニ致シタル者ハ輕懲役ニ處

ス

其一目ヲ瞎シ一耳ヲ聾シ又ハ一肢ヲ折リ其

他身體ヲ殘虧シ癩疾ニ致シタル者ハ二年以

上五年以下ノ重禁錮ト十圓以上五十圓以下

ノ罰金ニ處ス

第百五十六條 故意ヲ以テ人ヲ殴打創傷シ

二十日以上ノ時間疾病ニ罹リ又ハ職業ヲ營

スルヲ能ハサルニ至ラシメタル者ハ一年以

上三年以下ノ重禁錮十圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

其疾病休業ノ時間二十日ニ至ラサル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮五圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

疾病休業ニ至ラスト雖モ身體ニ創傷ヲ成シタル者ハ十一日以上一月以下ノ重禁錮十圓以上十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百十七條 豫メ謀テ人ヲ毆打シ因テ創傷及ヒ癩篤疾又ハ死ニ致シタル者ハ前數條ノ刑ニ照シ各一等ヲ加フ

第三百十八條 重罪輕罪ヲ犯スニ便利ナル爲メ又ハ已ニ犯シテ逃亡若クハ其刑ヲ免カ

ル、為メ人ヲ毆打創傷シタル者ハ前條ノ例ニ照シテ處断ス但強盜人ヲ死傷ニ致シタル者ハ此限ニ在ラズ強盜ノ本條ニ從フ

第三百十九條 毆打ニ因リ誤テ他人ヲ創傷シタル者ハ仍ホ毆打創傷ノ本刑ヲ科ス

第三百二十條 二人以上共ニ人ヲ毆打創傷シタル者ハ現ニ手ヲ下シ傷ヲ成スノ輕重ニ從テ各自^其刑ヲ科ス若シ共毆シテ傷ヲ成スノ輕重ヲ知ル^其能ハサル時ハ其重傷ノ刑ニ照シ一等ヲ減ス但教唆者ハ減等ノ限ニ在ラス

第三百四十一條 故意ヲ以テ人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ施用シテ人ヲ疾苦セシメタル者ハ豫メ謀テ毆打創傷スルノ刑ニ照シテ處断

ス

第三百四十五條 人ヲ殺スノ意ニ非スト雖モ
故サラニ詐稱誘導シテ危害ニ陷レ因テ創傷疾痛
若クハ死傷傷致シタル者ハ其豫メ謀ルト否ト
ヲ區別シ毆打創傷ノ刑ニ照シテ處断ス

第三節 殺傷ニ關スル宥恕及ヒ不論罪
第三百四十三條 自己ノ身體ニ暴行ヲ受ルニ
因リ直チニ怒ヲ發シ暴行人ヲ故殺シ又ハ毆
打創傷シタル者ハ其罪ヲ宥恕ス但不自己ノ罪
過ニ因リ自ら暴行ヲ受テ故殺毆傷損シタル者
ハ宥恕ノ限ニ在ラス

第三百四十四條 他人ノ暴行ヲ受ルヲ見
直チニ怒ヲ發シ暴行人ヲ故殺毆傷シタル者
ハ情状ニ因リ其罪ヲ宥恕スルヲ得

第三百四十五條 毆打シテ互ニ相創傷シ其手
ヲ下シ傷ヲ成スク先後ヲ知ルヲ能ハサル者
ハ各本刑ヲ宥恕スルヲ得

第三百四十六條 本夫其婦ノ姦通ヲ覺知シ姦
所ニ於テ直チニ姦夫又ハ姦婦ヲ故殺毆傷シ
タル者ハ其罪ヲ宥恕ス
若シ本夫先目ニ姦通ヲ縱容シタル時ハ宥恕
ノ限ニ在ラス

第三百四十七條 晝間故ナク人ノ住居シタル
邸宅ニ侵入シ若クハ踰越損壞セントスル者
ヲ防止シテ之ヲ故殺毆傷シタル時ハ其罪ヲ
宥恕ス

第三百四十八條 竊盜ヲ防止シ又ハ直チニ其
盜賊ヲ取還スル為メニ盜犯ヲ故殺毆傷シタ
ル者ハ其罪ヲ宥恕ス

第三百四十九條 前數條ニ記載シタル殺傷ノ
罪ヲ宥恕ス可キ者ハ各本刑ニ照シテ三等又ハ
四等ヲ減ス

第三百五十條 非理ノ兇行ヲ受テ身體生命ヲ
正當ニ防衛シ已ムコトヲ得サルニ出テ兇行人
ヲ故殺毆傷シタル者ハ自己ノ為メニシ他人
ノ為メニスルヲ分タス其罪ヲ論セス
若シ自己ノ罪過ニ因リ非理ノ兇行ヲ招キテ故
殺毆傷シタル者ハ不論此限ニ在ラス但前條
ノ例ニ照シ其罪ヲ宥恕ス

第三百五十一條 左ノ諸件ニ於テ已ムコトヲ得
サルニ出テ人ヲ故殺毆傷シタル者ハ其罪ヲ

論セス

一 自己ノ動産不動産ニ對シテ放火又ハ暴行
ヲ暴行ヲ為ス者(動産不動産ニ放火スル者ヲ)

二 強盜ヲ防止シ又ハ強盜ノ賊ヲ取還スルニ
出タル時

三 夜間故ナク人ノ住居シタル邸宅ニ侵入シ
若クハ踰越損壞スル者ヲ防止スルニ出タ
ル時

第三百五十二條 身體財産ヲ防衛スルニ出ル
ト雖モ已ムコトヲ得サルニ非スシテ害ヲ兇行
人ニ加ヘ又ハ其危害ヲ消滅シタル後ニ於テ

勢ニ乘シ仍ホ害ヲ兇行人ニ加ヘタル者ハ不
論罪限ニ在ラス但第三百中十九條ノ例ニ照
シ其罪ヲ宥恕ス

第四節 過失殺傷ノ罪

第三百五十一條 疎虞懈怠又ハ規則慣習ヲ遵
守セサルニ過失ニ因テ人ヲ死ニ致シタル者
ハ二月以上一年以下ノ輕禁錮十圓以上百圓
以下ノ罰金ニ處シ又ハ其禁錮罰金以下ノ額
ネルヲ得金ニ處ス

第三百五十二條 過失ニ因テ人ヲ創傷シ瘡篤
疾ニ致シタル者ハ一月以上六月以下ノ輕禁
錮^{二處シ又ハ}五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處シ又ハ其
禁錮罰金ノ一ニ處スルヲ得

第三百五十三條^八 過失ニ因テ人ヲ創傷シ疾病
ニ罹リ又ハ休業スルニ至ラシメタル者ハ十
一日以上二月以下ノ輕禁錮十圓以上二十圓
以下ノ罰金ニ處シ又ハ其禁錮罰金^{十圓以下ノ}額
ネルヲ得
疾病又ハ休業ニ至ラサル者ハ二圓以上^{五十圓}
以下ノ罰金ニ處ス

第五節 自殺ニ關スル罪

第三百五十四條 人ヲ教唆シテ自殺セシメタ
ル者又ハ囑託ヲ受テ自殺人ノ為メニ手ヲ下
シタル者ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮^{十圓}
以上五十圓以下ノ罰金^{ヲ付處ス}其他自殺ノ補
助ヲ為シタル者ハ一等ヲ減ス

第三百五十七條 自己ノ利慾ヲ逞スルノ意ニ

出テ人ヲ教唆シテ自殺セシメタル者ハ重懲

役ニ處ス

第三百五十八條 自殺者已ニ其事ヲ行ヒテ未

夕遂ケサル時ハ前二條ノ犯人ハ未遂犯罪ノ

例ニ照シテ處断ス

第六節 擅ニ人ヲ逮捕監禁スル罪

第三百五十九條 擅ニ現行犯ニ非サル人ヲ逮

捕シタル者ハ十一日以上一月以下ノ重禁錮

十圓以上十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百六十條 擅ニ人ヲ私家ニ監禁シタル者

ハ一月以上四月以下ノ重禁錮十圓以上十

圓以下ノ罰金ニ處ス但監禁日數十日ヲ過ル

毎ニ一等ヲ加フ

第三百六十一條 擅ニ人ヲ監禁制縛シテ毆打

拷責シ又ハ飲食衣服ヲ屏去シ若クハ空氣ノ

流通ヲ塞キ其他苛刻ノ所為ヲ施シ及ヒ之ヲ

殺サント脅迫シタル者ハ六月以上二年以下

ノ重禁錮十圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百六十二條 前條ノ罪ヲ犯スニ因テ疾病

休業ニ至ラシメ及ヒ癩篤疾又ハ死ニ致シタ

ル者ハ豫メ謀テ毆打創傷各本條ニ照シ一等ヲ加ヘ重

キニ從テ處断ス

第三百六十三條 擅ニ人ヲ禁入ラ受タル者其苦痛ヲ免

カル、為メ自殺シ又ハ自傷ヲ毀傷シタ

ル時ハ監禁者ヲ毆打創傷ノ刑ニ照シ重キニ

従テ處断ス

若シ監禁中水火震災條變ナラ際シ其監禁ヲ解
カスシテ死傷ニ致シタル時亦同シ前條ノ例ニ同シ

第七節 脅迫ノ罪

第三百六十條 人ヲ殺サント脅迫シ又ハ其
住居スル家屋ニ放火セント脅迫シタル者ハ
一月以上一年以下ノ重禁錮四圓以上二十圓
以下ノ罰金ヲ附スキ處カス
毆打創傷其他暴行ヲ加ヘント脅迫シタル者
ハ十一日以上二月以下ノ重禁錮二圓以上十
圓以下ノ罰金ヲ附スキ處カス
第三百六十七條 書類又ハ圖畫肖像像ヲ以テ前
條ノ罪ヲ犯シタル者ハ各一等ヲ加フ

兇器ヲ持シテ犯シタル者亦同シ

第三百六十條 親属ニ害ヲ被ラシム可キ事
ヲ以テ脅迫シタル者ハ直チニ本人ニ對シ脅
迫シタルノ罪ト同ク前數條ノ例ニ照シテ處
断ス

第三百六十七條 前數條ノ犯罪ハ脅迫ヲ受テ
ル者又ハ其代人ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第三百六十八條 脅迫ニ因リ疾病ヲ發スル者
至ラシキタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁
錮十圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

若シ自死ニ致シタル者ハ一年以上三年以下
ノ重禁錮二十圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處
ス

第三百六十九條 戲ニ人ヲ脅迫シ因テ疾病又ハ死ニ致シタル者ハ過失殺傷ノ例ニ照シテ處断ス

第八節 墮胎ノ罪

第三百七十條 懷胎ノ婦女自ラ藥物ヲ用ヒ又ハ其他ノ方法ヲ以テ墮胎シタル者ハ六月以上一年以下ノ重禁錮十圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百七十一條 藥物其他ノ方法ヲ以テ墮胎セシメタル者ハ婦女ノ承諾ヲ出タルト否トヲ分クテ前條ノ刑ニ同シ因テ婦女ヲ死ニ致シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮十圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百七十二條 醫師穩婆又ハ藥舗前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ各一等ヲ加フ

第三百七十三條 懷胎ノ婦女ヲ威逼又ハ誑騙知テ毆

打其他暴行ヲ加ヘ因テ墮胎ニ至リシタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮二十圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス其故ヲ以テ墮胎セシムルノ意ニ出タル者ハ輕懲役ニ處ス

若シ癩瘍疾又ハ死ニ致シタル者ハ豫メ謀ル

ト否トハ區別シ毆打創傷ノ各本條ニ照重キテ從テ處断ス

第九節 幼者又ハ老疾者ヲ遺棄スル罪

第三百七十四條 五歳以下ノ幼者ヲ遺棄シタル者ハ六月以上一年以下ノ重禁錮五圓以上

第三百三十三條 懷胎ノ婦女ヲ知テ毆打其他暴行ヲ加ヘ因テ墮胎ニ至リシタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮十圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス其故ヲ以テ墮胎セシムルノ意ニ出タル者ハ輕懲役ニ處ス

第三百三十五條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ癩瘍疾又ハ死ニ致シタル者ハ豫メ謀ルト否トハ區別シ毆打創傷ノ各本條ニ照シテ從テ處断ス

二十圓以下ノ罰金ニ處ス

自ラ生活スルヲ能ハサル老者疾病者ヲ遺棄シタル者亦同シ

第三百七十五條 十二歳二滿サレ以下ノ幼者又ハ老疾者ヲ寥闕無人ノ地ニ遺棄シタル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮十圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百七十六條 給料ヲ得テ人ノ寄託ヲ受ケ保養ス可キ者前二條ノ罪ヲ犯シタル時ハ各一等ヲ加フ

第三百七十七條 幼者老疾者ヲ遺棄シテ之ヲ廢疾ニ致シタル者ハ輕懲役ニ處シ篤疾ニ致シタル者ハ重懲役ニ處ス因テ死ニ致シタル

者ハ有期徒刑ニ處ス

其寥闕ノ地ニ遺棄シタル者ハ各一等ヲ加フ

第三百七十八條 自己ノ所有地又ハ管守ス可

キ地内ニ遺棄セラレタル幼者老疾者アルト

ヲ覺知シテ之ヲ扶助セズ又ハ官署ニ申述セ

サル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス刑ニ照シ各

第三百七十九條 幼者老疾者ヲ寄託セラレタ

ル者若シ其寄託者又ハ官署ヨリ還付ヲ求メ
受テ仍ホ之ヲ還付セズ且其存在セサル原由
ヲ證明セサル時ハ輕懲役ニ處ス

第十節 幼者ヲ略取誘拐スル罪

第三百八十條 年齢十二歳ニ滿サル幼者ヲ略

猥褻ノ所行ヲ為シ又ハ十二歳以上ノ男女ニ對シ暴行脅迫ヲ以テ猥褻ノ所行ヲ為シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮^三十圓以上二十圓以下ノ罰金^{ヲ附處加ス}

第三百^四十七條 十二歳ニ滿サル男女ニ對シ暴行脅迫ヲ以テ猥褻ノ所行ヲ為シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮^三十圓以上四十圓以下ノ罰金^{ヲ附處加ス}

第三百^四十八條 十二歳以上ノ婦女ニ對シテ強姦シタル者ハ輕懲役ニ處ス
方略ヲ用ヒテ人^{ヲ昏}睡眠若クハ昏絶セシメ^又其^又他精神ヲ錯亂セシメテ姦淫シタル者ハ強姦ヲ以テ論ス

第三百^四十九條 十二歳ニ滿サル幼女ヲ姦淫シタル者ハ輕懲役ニ處ス若シ前條ノ罪ヲ犯^{強姦}ル者ハ重懲役ニ處ス

第三百^五十條 前數條ノ犯罪ハ被害者又ハ其親屬代人ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス
若シ本犯式ニ從テ其婦女ト婚姻ヲ為シタル時ハ告訴ノ効ナキ者トス

第三百^五十一條 前數條ノ罪ヲ犯スニ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ^{第三百條ノ刑例ニ照シ}國^{第三百條ノ刑例ニ照シ}打創傷ノ刑例ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處断ス

第三百^五十二條 二十歳ニ滿サル男女ノ淫行ヲ勸誘シ^{媒合}シタル者ハ六月以上^{十年}以下ノ重禁錮^三十圓以上^{五十圓}以下ノ罰金^{ヲ附處加ス}

ス

贈遺・結婚・約其他ノ方法ヲ以テ其媒合ヲ囑託シタル者亦同シ

第三百九十三條 有夫ノ婦姦通シタル者ハ半年

月以上二年以下ノ重禁錮十圓以上四十圓以下

ノ罰金ニ處ス其相姦スル者亦同シ

有夫姦ハ本夫ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス若シ

本夫先キニ其姦ヲ縱容シタル時ハ告訴ノ効

ナキ者トス

第三百九十四條 配偶者アル者重子テ婚姻ヲ

為シタル時ハ六月以上三年以下ノ重禁錮

圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ處ス

第十二節 誣告及ヒ人ノ名譽ヲ害スル罪

第三百九十五條 書面又ハ言語ヲ以テ故サテ

キ不實ノ事ヲ告訴シタル者ハ誣告ニシテ罪

ト為シ第二百五十三條ニ記載シタル偽證ノ

例ニ照シテ處断ス

第三百九十六條 誣告ヲ為スト雖モ被告人ノ

推問ヲ始メサル前ニ於テ誣告者自首解訴シ

タル時ハ其罪ヲ論セス

第三百九十七條 誣告ニ因テ被告人刑ニ處セ

ラレタル時ハ第二百五十四條第二項第五

條ニ記載シタル例ニ照シテ誣告者ヲ及坐ス

第三百九十八條 及ヒ名譽ヲ害スルノ意ヲ以

テ公然其惡事醜行ヲ摘發公布シタル者ハ事

實ノ有無ヲ問ハズ 讒毀ノ罪ト為シ有無ヲ問ハ

照左例ニ處断ス

一公然ノ演説ヲ以テ人ヲ讒毀シタル者ハ十日以上、^三一月以下ノ重禁錮^三三圓以上十圓以下ノ罰金^三ヲ附處加ス

二書類畫圖ヲ公布シ又ハ雜劇偶像ヲ作為シテ人ヲ讒毀シタル者ハ十五日以上、^六一月以下ノ重禁錮^三三圓以上三十圓以下ノ罰金^三ヲ處ス附加ス

第~~五~~百~~九~~條 公判ノ辨論及ヒ裁判宣告書ヲ誠實ニ判行シタル者ハ人ノ名譽ヲ害ス可キ事件ニ係ルニ雖モ讒毀ヲ以テ論スルノ限キ在キ不

第^三百^五條 死者^ヲ對シテ讒毀^ヲ為シタル者ハ其

事故^ヲ論^ニ出タル時ニ非サレハ讒毀^ノ刑^ヲ科^セス

第~~四~~百~~十~~條 誣告又ハ讒毀ノ罪ヲ處断シタル時ハ裁判所ニ於テ被害者ノ請求ニ因リ其裁判宣告書ヲ新聞誌上ニ登記シ及ヒ其宣告書ノ副本數通ヲ被害者ニ給與スルヲ命ズルヲ得但^レ其費用ハ之ヲ犯人ニ科ス

第^三百^六條 醫師藥舖穩婆又ハ代言人代書人公證人若クハ神官僧侶^自己^其身分職業ニ關シテ委託ヲ受^ケテ^タル事^ニ因^テ知得タル陰私^ハ洩^スル者ハ讒毀^ノ刑^ヲ科^スルヲ以テ論^シテ出タル者ハ十一日以下ノ罰金^ヲ科^ス

照シテ等ヲ加フ前條ノ例ニ同シ

第四百七條 祖父母父母ニ對シタル故殺及ヒ

毆打創傷ノ罪ハ特別ノ宥恕減輕ヲ與フルコト

ヲ得ス

第四百八條 祖父母父母ニ對シタル犯罪ハ酌

量ス可ク情狀アリト雖モ一等ヲ減スルノ外

之ヲ減輕スルコトヲ得ズ

第四百九條 祖父母父母ニ對シタル未遂犯罪

ハ意外ノ并錯ニ因リ遂行サレ時ハ三等ヲ減

シ意外ノ障礙ニ因リ未止シタル時ハ三等ヲ

減ス

第二章 財産ニ對スル罪

第一節 竊盜ノ罪

第四百十條 他人ノ所有物ヲ竊取シタル者ハ

竊盜ノ罪ニ為シ三月以上二年以下ノ重禁錮

ニ處ス

第四百十一條 左ニ記載シタル者竊盜ヲ犯シ

タル時ハ前條ノ刑ニ照シテ一等ヲ加フ

一 僕婢管店ノ雇工人及ヒ年期弟子其家ニ非

ス物品ヲ竊取シタル時者ハ竊盜ノ罪ト為シ三月以上四年

以下ノ重禁錮ニ處ス

二 家主其僕婢及ヒ前項ニ記載シタル者ノ物

品ヲ竊取シタル時

三 旅店航客船ノ主人及ヒ其管店ノ使テ等旅

人航客ノ携帶物品ヲ竊取シタル時

四 中旅人航客其旅店主人及ヒ前項ニ記載シタル

ル者ノ物品ヲ竊取シタル時

第四百六十七條 水火震災其他非常ノ變ニ乘シ

テ竊盜ヲ犯シタル者ハ^{前條ノ刑ニ照シ}三月以上三年以下ノ

重禁錮三十圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四百六十八條 門戶牆壁ヲ踰越損壞シ若クハ

偽鑰ヲ用ヒテ開鎖ヲ開キ人ノ住居セサレ

宅ニ入り竊盜ヲ犯シタル者ハ^五六月以上三年

以下ノ重禁錮三十圓以上三十圓以下ノ罰金ニ

處ス

第四百六十九條 ^{前條ノ所為ヲ以テ人ノ住居}

正四年以下ノ重禁錮四十圓以上六十圓以下ノ

罰金ニ處ス

若シ左ニ記載ナル所ノ情状アル者ハ一個毎

第三百七十條 夜間二人以上ニシテ兇器ヲ持シ人ノ住居ニ

侵入リ竊盜ヲ犯シタル者ハ^{輕懲役ニ處ス}

二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百七十一條 自己ノ所有物ト雖モ典物トシ

テ他人ニ交付シ又ハ^{裁判所}ノ命ニ因リ他人

ヲシテ管守セシメタル時之ヲ竊取シタル者

ハ竊盜ヲ以テ論ス

第三百七十二條 田野ニ於テ穀類菜菓其他需用

ノ產物ヲ竊取シタル者ハ既ニ收穫シタルト

否トモ分メテ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ

處ス

田野ニ於テ培養ニ供スル物品又ハ開墾建築

手用ノ可キ竹木草石其他ノ物品ヲ竊取シ
ル者亦同シ

第四百十七條 左ニ記載シタル諸件ヲ犯スル者前條ノ刑ニ同シ

山林ニ於テ斫伐シタル竹木薪炭木皮ヲ竊取シタル者

鑿礦ノ器具ヲ竊取シタル者

主邸宅外ノ池沼ニ於テ畜養シタル魚鳥ヲ竊取シタル者

第三百十八條 田野山林ニ於テ竹木礦物其他ノ產物ヲ礦山牧場ニ於テ牧養獸類又ハ耕作負載ノ用ニ供ス養牛馬及ヒ騾等ノ產物ヲ竊取シタル者前條ノ刑ニ同シ

禁錮三十圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百十九條 官私山林園圃ニ於テ竹木ヲ竊取シタル者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮

二百五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四百十條 前四條ノ罪ヲ犯シタル者左ニ記載スル情状ナル時ハ一個毎ニ一考ヲ加フ

一 夜間犯シタル時

二 僕婢雇工及日看守者犯シタル時

第四百十一條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處断ス

第四百十二條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

ヲ得

第四百二十七條 夫婦祖父母父母子孫及ヒ其

配偶者又ハ同居ノ兄弟姉妹伯叔父姑舅姨姪

甥互ニ竊盜ヲ犯シタル時ハ其罪物ヲ論用シタル

若シハ竊盜ヲ以テ論スルノ限ニ在ラズ

若シ他人共犯スルニ限ニ在ラズ

第二節 強盜ノ罪

第四百七十四條 人ヲ脅迫シ又ハ暴行ヲ加ヘ

テ財物ヲ強取シタル者ハ強盜ノ罪ト為シ輕

懲役ニ處ス

竊盜財ヲ得テ其取還ヲ拒テ為シ臨時暴行脅

迫ヲ為シタル者ハ強盜ヲ以テ論ス

第四百七十九條 強盜ヲ犯シタル者左ニ記載

スル情状ハ一個ナル時ハ重懲役ニ處ス每三等ニ加フ

一 道路又ハ船舶ニ於テ犯シタル時

二 二十人以上共ニ犯シタル時

三 兇器ヲ携帯シテ犯シタル時

四 假面又ハ其他ノ物ヲ用ヒ面貌ヲ掩蔽シテ

犯シタル時

第四百八十六條 強盜ヲ犯シ人ヲ傷シタル者

ハ懲期徒刑ニ處シ瘡罵疾ニ致シタル者ハ無

期徒刑ニ處シ不困テ死ニ致シタル者ハ死刑ニ

處ス

第四百八十三條

暴行脅迫ヲ為シタル者ハ強盜ヲ以テ論ス

其財物ヲ強取シタル者ハ強盜ヲ以テ論ス

第三百一十一條 強盜ヲ犯シ因テ強姦シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第三百一十二條 竊盜財ヲ得テ其取還ヲ拒テ為シ臨時暴行脅迫ヲ為シタル者ハ強盜ヲ以テ論ス

第三百一十一條 強盜ヲ犯シ因テ強姦シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第四百一十八條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ
減輕ニ因テ輕罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ一
年以上三年以下ノ監視ニ付ス

第三節 遺失物^埋藏物ニ關スル罪

第四百一十九條 遺失物^埋藏物ヲ拾得テ隱匿シ

本主ニ還付セス又ハ官署ニ申告セサル者ハ

十五日以上六月以下ノ重禁錮^{三圓以上}ニ付ス

以下ノ罰金ニ處ス

第四百二十條 他人ノ所有地内ニ於テ埋藏ノ

物品ヲ掘得テ隱匿シタル者ハ前條ノ刑ニ同

シ

第四百二十一條 此節ニ記載シタル罪親屬相

犯ス者ハ第四百十七條ノ例ニ從フ

第四節 家資分散ニ關スル罪

第四百二十二條 家資分散ノ際ニ於テ其現在

ノ財産及ヒ貸與ノ財産ヲ藏匿脱漏シ又ハ虛

偽ノ負債ヲ増加シタル者ハ六月以上五年以

下ノ重禁錮ニ處ス

情ヲ知テ虛偽ノ契約ヲ承諾シ若クハ其媒介

ヲ為シテ分散ヲ終成セシメタル者ハ共犯ト

以テ論ス亦同シ

此條ノ罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ

未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第四百二十五條 家資分散ノ際故チテ商業

簿冊計算牒簿ノ類ヲ藏匿棄毀シ又ハ分散決

定ノ後債主中ノ一人ニ其負債ヲ私償シテ他

ノ債主ヲ害シタル者ハ一月以上二年以下ノ
重禁錮ニ處ス

第五節 詐欺取財及ヒ（受寄財物ヲ関スル）背信ノ罪

第四百五十四條 人ヲ欺罔シ（受寄財物ヲ関スル）ハ恐無實ノ成功ヲ

希望セシメ又ハ無根ノ事故ヲ畏怖セシメ其

他偽計ヲ用ヒテ（動産物）動産不動産若クハ義務ノ證

書義務釋放ノ證書及ヒ收納ノ證書（類）ヲ騙取シ

タル者ハ詐欺取財ノ罪ト為シ二月以上三年

以下ノ重禁錮（處）十圓以下ノ罰金キ

處ホラ附加ス

若シ此條ノ罪ヲ犯ス為メニ官私ノ文書ヲ偽

造（複製）タル者ハ偽造ノ各本條ニ照シ重キニ從

テ處断ス

第四百五十五條 幼者ノ知慮淺薄又ハ人ノ精

神錯乱シタルニ乘シテ其（動産物）動産物若クハ證

書類ヲ授與セシメタル者ハ詐欺取財ヲ以テ

論ス

第四百五十六條 物件ヲ販賣シ又ハ質貸交換

スルニ當リ其物質ヲ變シ若クハ分量ヲ偽テ

人ニ交付シタル者ハ詐欺取財（財）ヲ以テ論ス

此條ノ罪ヲ犯シタル者ハ其裁判宣告書ヲ榜

示公告シ且之ヲ新聞誌上ニ登記スルヲ命ズ

ルヲ得但登記ノ費用ハ之ヲ犯人ニ科ス

第四百五十七條 他人ノ動産不動産ヲ冒認シ

人ヲ騙瞞シテ販賣交換シタル者又ハ抵當典

物ト為シタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

自己所有ノ不動産ト雖モ己ニ抵當（其物）為シタ
ルヲ欺隱シテ他人ニ賣與シ又ハ重子テ抵當
（其物）為シタル者亦同シ但判決ノ前ニ於テ抵當

ノ金額ヲ辨償シタル者ハ其罪ヲ論セス
第四百三十八條 （受寄ル者ハ其罪ヲ論セス）
質借恩借（其物）物（其物）又ハ典物受

寄品其他委託ヲ受タル金額物（其物）ヲ藏匿揚帝
ト若クハ費消シタル者ハ背信ノ罪ト為レ一
月以上一年以下ノ重禁錮ヲ圍以上一圍以

下ノ罰金ニ処ス若シ詐欺ノ所為ル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス
○若シ水火震災其他非常ノ變ニ際シ委託ヲ受

タル物品ニ係ル時ハ一等ヲ加フ
第四百三十九條 自己ノ所有ニ係ルト雖モ裁
判官ヨリ差押へ更ニ付託シタル物（其物）ヲ藏匿

第三百九十五條 容
重倉戸及三人
舟子脚夫馬丁
車力等ノ人ノ賃
給ヲ受ケ其金
財物ヲ藏匿揚
帶スル者ハ二月
以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス

脱漏シ又ハ賣消シタル者ハ背信ヲ以テ論ス

但家資分散ノ際ニ於テ此罪ヲ犯シタル者ハ

第四百五十五條ノ例ニ照シテ處断ス

第四百四十一條 船長又ハ運轉手自己ノ利ヲ圖

リテ擅ニ其委託セラレタル船舶ヲ賣却又ハ

藏匿シテ所有主ノ損害ヲ為シタル者ハ一年

以上五年以下ノ重禁錮十圓以上五十圓以下

ノ罰金ニ處ス

第四百四十一條 製造所ノ職工雇人自己ノ利

ヲ圖リテ其製造ノ秘訣ヲ他人ニ漏洩シテ製

造主ノ損害ヲ為シタル者ハ一月以上六月以

下ノ重禁錮二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處

ス

第四百四十五條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯サ
ントシテ未夕遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ

照シテ處断ス
第四百四十五條 此節ニ記載シタル罪親屬相
犯ス者ハ第四百二十五條ノ例ニ從フ

第六節 贓物ニ關スル罪
第四百四十四條 盜犯及贓物取財他前數節ノ記
載シタル犯罪ニ關スル物件ナル下ヲ知テ之

ヲ受ケ又ハ寄藏故買金若シテ其罪ヲ為シ
タル者ハ月以上三年以下ノ禁錮及罰金ニ處テ
強盜及贓物取財者ハ其罪ノ輕重ニ依リテ
禁錮ニ處テ之ニ關シテ其強取ノ情ヲ知ル者
ハ竊盜ノ例ニ從テ論ス
第七節 放火失火ノ罪

第四百條 前條
ノ罪盜犯贓物
ニ係ル者ハ一年
以下ノ監視ニ處
ス

第四百四十五條 放火ヲ放テ故サラニ人ノ住居
タル家屋船舶及住居ニ屬スル倉庫又ハ
人ノ集會シタル建造物ヲ燒燬シタル者ハ死
刑ニ處テ無期徒刑ニ處ス
旅客ヲ乘載シタル汽車ハ其列車ノ一部
放火シタル者亦同シ

第四百四十三條 火ヲ放テ他人ノ物品ヲ貯藏
シタル建造物ヲ燒燬シタル者ハ無期徒刑ニ

處ス
若シ人ノ家稠密ノ地ニ係ル時ハ一等放火タル
神祠佛堂及ヒ其附屬ノ建造物ニ放火タル
者亦同シ

第四百四十五條 放火ヲ放テ他人ノ山林草木田野ニ
燒燬シタル者ハ有期徒刑ニ處ス

第四百二條 人家
稠密ノ地ニ於テ
前條ノ罪ヲ犯シ
タル者ハ死刑ニ處
ス

自他ノ物品ヲ貯藏スル他人ノ建造物ニ放
火シタル亦同シ

第四百四十八條 火ヲ放テ他人ニ屬スル山林
ノ草木及ヒ田野ノ穀類又ハ堆聚シタル竹木
藁草薪炭膏油其他焚燒破裂ス可キ物件ヲ燒
燬シタル者ハ重懲ニ處ス

第四百四十九條 火ヲ放テ前條ニ記載シタル
以外ノ堆聚物件ヲ燒燬シタル者ハ輕懲後ニ
處ス

人ノ住居セサル船舶又ハ旅客ヲ乘載セサル
漬車ニ放火シタル者亦同シ

第四百五十條 火災ノ保償ニ付シ又ハ抵當及
典物ト為シタル物件ニ放火シタル者ハ自

己ノ所有ニ係ルニ雖モ他人ノ所有物ニ同ク
論ス

第四百五十一條 前數條ノ罪ヲ犯シ減輕ニ因
テ輕罪ノ刑ニ處セラルル者ハ一年以上三
年以下ノ監視ニ付ス

第四百五十二條 火ヲ放テ自己ノ所有ニ係ル
空間^家房屋其他ノ物件ヲ燒燬シタル者ハ十月
以前數條ノ刑ニ照シ各三等ヲ減ス
以上二年以下ノ重禁錮ニ圓以上二十圓以下
ノ罰金ニ處ス

第四百五十三條 第四百四十六條以下ニ記載
シタル放火ニ因テ更ニ重刑ニ處ス可キ家屋
物件ニ延燒シタル時ハ其重キニ從テ處断ス

第四百五十四條 疎虞懈怠又ハ規則ヲ遵守セ

第四百條 放火ノ
罪ヲ犯シ輕罪ノ
刑ニ處セタル者
ハ二年以下ノ監視
ニ付ス

第四百九條 火ヲ放シテ人ノ家屋財産ヲ燒燬損害シタル者ハ十日以上三月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ二十圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

○

サレニ因リ火ヲ失シテ人ノ家屋財産ヲ燒燬損害シタル者ハ十一日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ二十圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス又ハ其禁錮罰金ノ一ニ處スルヲ得

第四百五十五條 地雷火^藥其他激發ス可キ物品又ハ煤氣井蒸氣罐ヲ破裂セシメテ人ノ建造物船舶等ヲ毀壞シタル者ハ其故意ニ出ルト過失トヲ分テ放火失火ノ例ニ照シテ處斷ス

第八節 決水ノ罪

第四百五十六條 故意ヲ以テ堤防ヲ決潰シ又ハ水閘ヲ毀壞シテ^{故サレテ}人家^{他家}其他^{他家}建造物ヲ沈没シタル者ハ^{無期徒}刑ニ處ス

第四百五十七條 堤防ヲ決壞シ水閘ヲ毀壞シ

テ^{故サレテ}他人ノ^田田^{積聚物品}積聚物品若クハ^空空^間間房屋ヲ沈没シ又ハ^{荒廢}荒廢シタル者ハ^輕輕^懲懲^役役ニ處ス

第四百五十八條 他人ノ便益ヲ損シ又ハ自己ノ便益ヲ圖ル為メニ堤防ヲ決潰シ水閘ヲ毀壞シ其他水利ヲ妨害シタル者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ二十圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

此條ノ罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第四百五十九條 過失ニ因テ水害ヲ起シタル者ハ失火ノ^刑刑ニ同ニ照シテ處斷ス

第九節 船舶ヲ覆没スル罪

第四百六十五條 衝突其他ノ所為ヲ以テ故サラ

ニ人ノ乗^乗載^載シタル船舶ヲ沈没又ハ傾覆シタル

者ハ死刑ニ處ス但^其船中^ノ者死亡ナキ時ハ

無期徒刑ニ處ス

第四百六十六條 前條ノ所為ヲ以テ人^ノ乗^乗載^載サ

サル船舶ヲ覆没シタル者ハ輕懲役ニ處ス

自己ノ船舶ト雖モ他人ノ物品ヲ積載シテ覆

没シタル者亦同シ

第四百六十七條 自己ノ所有ニ係ル^ト雖モ水

難ノ保償ニ付シ又ハ與物ト為シタル船舶ヲ

故サテ覆没シタル者ハ他人ノ船舶ト同ク

論ス

第四百六十三條 過失ニ因テ船舶ヲ覆没シテ

ル者ト失火ノ刑ニ同キ

第十節 家屋物品及ヒ動植物ヲ毀壞殘

害スル罪

第四百六十四條 故意ヲ以テ他人ノ家屋^{其他建造物ヲ}

壞シタル者ハ人ノ住居ナルト否トヲ分テ木

一月以上五年以下ノ重禁錮二圓以上五十圓

以下ノ罰金ニ處ス

因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各

本條ニ照シテ重キニ從テ處斷ス

第四百六十五條 故意ヲ以テ他人ノ家屋ニ屬

ス^{柵欄}牆塼及ヒ園池ノ裝飾又ハ田畝ノ樊圍^{園牧場}

毀壞シタル者ハ十一日以上三月以下ノ重禁

錮二圓以上十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四百六十九條

故意ヲ以テ他人ノ稼穡其他
需用ノ植物ヲ毀損又ハ荒残シタル者ハ已ニ
收穫スルト否トヲ分ク十一月以上六月以
下ノ重禁錮二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處
ス

他人ノ竹木ヲ毀伐又ハ拔倒シタル者亦同シ

第四百六十七條

故意ヲ以テ土地ノ經界ヲ表
シタル物件ヲ毀壞又ハ移轉シタル者ハ一月
以上六月以下ノ重禁錮二圓以上二十圓以下
ノ罰金ニ處ス

自己ノ利ヲ圖ル為メニ隣地ノ經界ヲ毀壞移

轉シタル者ハ一等ヲ加フ

第四百六十八條

故意ヲ以テ他人ノ農具又ハ小

數
收場損柵欄若クハ田野ノ守舎ヲ毀壞シタル

者ハ十一日以上三月以下ノ重禁錮二圓以上

七圓以下ノ罰金ニ處ス

第四百六十九條

故意ヲ以テ他人ニ屬スル權
利義務ノ證書義務釋放ノ證書及口收納ノ證
書ヲ棄毀滅盡シテ其効ヲ失ハシタル者ハ
二月以上五年以下ノ重禁錮五圓以上五十圓
以下ノ罰金ニ處ス

其證書ノ副本及口記録計算書若クハ書牘其

他必用ノ文書ヲ棄毀滅盡シテ其効ヲ失ハシ

タル者ハ十一月以上一年以下ノ重禁錮十

圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四百七十條

故意ヲ以テ他人ニ屬スル食用

品商品其他ノ動産ヲ棄毀損壞シテ其用ニ適

セザラシムル者ハ十日以上六月以下ノ

重禁錮二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四百七十二条 自己又ハ他人ノ為メニ危害

ヲ防衛スルニ非スシテ故チラニ他人ノ牛馬

驢羊ヲ殺害シタル者ハ一月以上六月以下ノ

重禁錮五圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四百七十三条 故意ヲ以テ前條ニ記載シタ

ル以外ノ家畜ヲ殺害シタル者ハ二圓以上二

十圓以下ノ罰金ニ處ス但被害者カ告訴ヲ待

テ其罪ヲ論ス

第四百二十四條 故意ヲ以テ人ノ權利義務ニ関スル證書類ヲ毀棄滅失

シタル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四編 違警罪

第四百七十五条 左ノ諸件ヲ犯ス者ハ三日以

上十日以下ノ拘留一圓以上一圓九十五錢以

下ノ料料ニ處ス

一官署ノ規則ヲ遵守セスシテ火藥烟火其他

破裂ス可キ物品ヲ市街ニ運搬スル者

二官署ノ規則ヲ遵守セスシテ火藥其他破裂

スヘキ物品又ハ自ラ火ヲ発スヘキ物品ヲ

貯藏シタル者

三官署ノ許可ヲ得スシテ烟火ヲ製造シ又ハ

之ヲ販賣シタル者

四人家稠密ノ場所ニ於テ濫リニ烟火其他火

器ヲ玩ヒタル者

十人ノ住居セサル
 家屋内ニ潜伏シ
 タル者
 十二定リタル住居ナ
 ク平常ノ営生ノ
 産業ナシシテ
 諸方ニ徘徊スル
 者
 十三違警罪ハ犯
 人ヲ曲成スル為
 偽證シタル者且
 被告ノ偽證ノ為
 ノ刑ヲ免カレシ
 時ノ第二百三十一
 条ノ例ニ從フ

五蒸氣器械其他烟筒火竈ヲ建造修理シ及ヒ
 掃除スル規則ニ背キタル者
 六官署ノ督促ヲ肯セス崩壊セントスル家屋
 牆塼ノ修復ヲ為サ、ル者
 七官許ヲ受スシテ、死屍ヲ解剖シタル者
 八自己ノ所有地内ニ死屍アルヲ知テ官署ニ
 申告セス又ハ之ヲ他所ニ移棄シタル者
 九密ニ賣淫ヲ為シ又ハ其宿所ヲ感シタル者
 第四百七十四條 左ノ諸件ヲ犯ス者ハ二日以
 上五日以下ノ拘留五十錢以上一圓五十錢以
 下ノ科料ニ處シ又ハ其拘留科料ノ一ニ處ス
 ルヲ得
 一人家ノ近傍又ハ山林草野ニ於テ濫リニ火

ヲ焚ク者
 于自己ノ所管ニ屬スル堤防ノ修繕ニ怠
 ル者
 五水火其他ノ變ニ際シ官吏ヨリ防禦スベキ
 ノ求メヲ受ケ傍觀シテ之ヲ肯ンセサル者
 四腐敗物其他健康ヲ害スヘキ飲食物ヲ販賣
 シタル者
 五健康ヲ保護スル為ノ設ケタル規則又ハ傳
 染病豫防ノ規則ニ背キタル者
 六人ノ通行スヘキ場所ニアル危険ノ井溝其
 他凹所ニ蓋又ハ防圍ヲ為サ、ル者
 七警察ノ規則ニ背キテ荷物其他水陸ノ運送
 ヲ為シタル者

路上ニ於テ大其他ノ獸類ヲ嗾シ又警言逸セシタル者
 九發狂人ノ看守ヲ怠リ路上ニ徘徊セシメタ
 ル者
 十狂犬猛獸等ノ繫鎖ヲ怠リ路上ニ徘徊放逸
 セタル者
 十一變死人ノ檢視ヲ受スシテ埋葬シタル者
 十二人民集會シテ官署ヨリ退散スヘキ命ニ
 従ハサル者
 十三人ヲ毆打シテ傷疾疾病ヲ為サ、ル者
 第四百七十五條 左ノ諸件ヲ犯ス者ハ一日以
 上三日以下ノ拘留三處又三十錢以上一圓二十五錢
 以下ノ科料ヲ處シ又ハ其拘留科料ノ一ニ處
 スルヲ得

一濫リニ車馬ヲ疾驅シテ行人ノ妨害ヲ為シ
 タル者
 二制止ニ違フテ人ノ群集シタル場所ニ車馬
 ヲ繫キタル者
 三夜中無提燈ニテ車馬ヲ馳疾驅スル者
 四木石等ヲ道路ニ推積シテ防圍ヲ設ケス又
 ハ標識ノ點燈ヲ怠リタル者
 五路來ノ常燈ヲ消シタル者
 六瓦礫ヲ道路家屋園圃ニ投擲シタル者
 七禽獸ノ死屍ヲ道路ニ棄擲シ又ハ之ヲ取除
 カサル者
 八汚穢物ヲ道路家屋園圃ニ投擲シタル者
 九警察ノ規則ニ背キテ諸商業ヲ為シタル者

十 醫師穩婆急病ノ時事故ナクシテ人ノ招キ
ニ應セサル者

十一 死亡ノ申告ヲ為サスシテ埋葬シタル者
十二 墜落シテ人ノ危害ヲ來スヘキ物品ヲ屋
上其他高所ニ置キタル者

十三 流言浮説ヲ為シテ人ヲ誑惑シタル者
十四 私有地外ヘ濫リニ家屋墻塀ヲ設ケ又ハ
軒楹ヲ出シ其他共有地内ニ家作ヲ為シタル者

十五 官許ヲ得スシテ路傍又ハ河岸ニ床店等
ヲ開キタル者
十六 路上ノ植木市街ノ常燈及ヒ廁場等ヲ毀
損シタル者

十七 道路橋梁其他ノ場所ニ榜示シタル通行
禁止及ヒ指道標ノ類ヲ毀棄汚損シタル者
十八 墓碑及ヒ路上ノ神佛ヲ毀損又ハ汚瀆シ
タル者

十九 神祠佛堂其他公ノ建造物ヲ汚損シタル
者
二十 公然キ人ヲ罵詈嘲弄シタル者但訴ヲ待
テ其罪ヲ論ス

第四百七十六條 左ノ諸件ヲ犯ス者ハ一日ノ
拘留又ハ十錢以上一圓以下ノ科料ニ處ス
一 飲食物ノ分量ヲ増加スル為メ他物ヲ混合
シテ販賣シタル者

二 官署ヨリ價額ヲ定メタル物品ヲ定價以上

ニ販賣シタル者

三 渡船橋梁其他ノ場所ニ於テ定價以上ノ通行錢ヲ貪取シタル者又ハ故ナク通行ヲ妨ケタル者

四 渡船橋梁其他通行錢ヲ拂フ可キ場所ニ於テ其定價ヲ出サスシテ通行シタル者

五 路上ニ於テ賭博ニ類スル商業ヲ為シタル者

六 妄ニ吉凶禍福ヲ説キ又ハ祈禱符咒等ヲ爲シ人ヲ惑ハシテ利ヲ圖ル者

七 官許ヲ得スシテ劇場其他觀物場ヲ開キ及ヒ其規則ニ背キタル者

八 溝渠下水ヲ毀損シ又ハ命令ニ背キテ溝渠下水ヲ浚ハサル者

九 制止ニ違フテ路傍ニ食物其他ノ商品ヲ羅列シタル者

十 許可ナクシテ獸類ヲ官有地へ放チ又ハ牧養シタル者

十一 警察ノ規則ニ定メタル乗車ノ番號ヲ記セサル者

十二 身體ニ刺文ヲ為シ及ヒ之ヲ業トスル者

十三 外ハ掩ハス夫ハ男女混淆ノ浴場ヲ設ケタル者

第四百七十七條 左ノ諸件ヲ犯ス者ハ五錢以上五十錢以下ノ科料ニ處ス

一 戲ニ他人ノ繫キタル牛馬其他ノ獸類ヲ解放シタル者

十二 他人ノ繫キタル牛馬其他ノ獸類ヲ解放シタル者
十三 他人ノ繫キタル舟筏ヲ解放シタル者

一 戲ニ他人ノ繫キタル舟筏ヲ解放シタル者

二 橋梁又ハ堤防ノ害ト為ルヘキ場所ニ舟筏

ヲ繫キタル者

三 牛馬諸車其他物件ヲ道路ニ横タヘ又ハ木

石薪炭等ヲ堆積シテ往來ノ妨ケヲ為シタ

ル者

四 車馬ヲ並ヘ牽テ人ノ通行ヲ妨ケタル者

五 水路ニ於テ舟ヲ並ヘテ通船ノ妨ケヲ為シ

タル者

六 氷雪塵芥等ヲ路上ニ投棄シタル者

七 道路ノ掃除ヲ怠リタル者

八 制止ニ違フテ路上ニ遊戯ヲ為シ往來ヲ妨

ケタル者

九 牛馬ノ牽キ方又ハ繫キ方ヲ忽カセニシテ

行人ノ妨害ヲ為シタル者

十 出入ヲ禁止シタル場所ニ妄リニ出入シ

タル者

十一 通行留ノ揭示ヲ犯シテ通行シタル者

十二 手懸具ヲ祭スル肥糞類ニ蓋ヲ用ヒスルヲ

市街ヲ運搬シタル者

十三 市街ニ於テ劇場ニ非ナル所ニ大小便ヲ

為シタル者

十四 路上及ヒ外見ノ場所ニ於テ裸体又ハ袒

裼シタル者

十五 男ニシテ女装シ女ニシテ男装シ其他奇

怪ノ扮装ヲ為シテ徘徊シタル者

十 夜間放歌高聲ヲ癸シ又ハ小器物ヲ鳴ラシ
テ人ノ安眠ヲ妨ケタル者

十一 晝間道路ニ於テ放歌高聲ヲ癸シ官吏ノ
制止ヲ肯ンセサル者

十二 巴ムヲ得サル事故ナクシテ兵隊又ハ公
私行列ヲ妨ケタル者

十三 泥酔シテ路上ニ喧噪シ又ハ睡倒シタル
者

十四 公ノ場所ニ於テ禽獸ヲ闘ハシメ
ル者

十五 人家ノ牆壁ニ貼紙及ヒ樂書シタル者

十六 邸宅ノ番號標札招牌又ハ貸家賣家ノ
貼紙其他報告ノ榜標等ヲ毀損シタル者

十七 四道路ニ於テ家畜ヲ殺害シタル者

十八 田野園圃ニ於テ菜菓ヲ採食シ又ハ花
卉ヲ折採シタル者

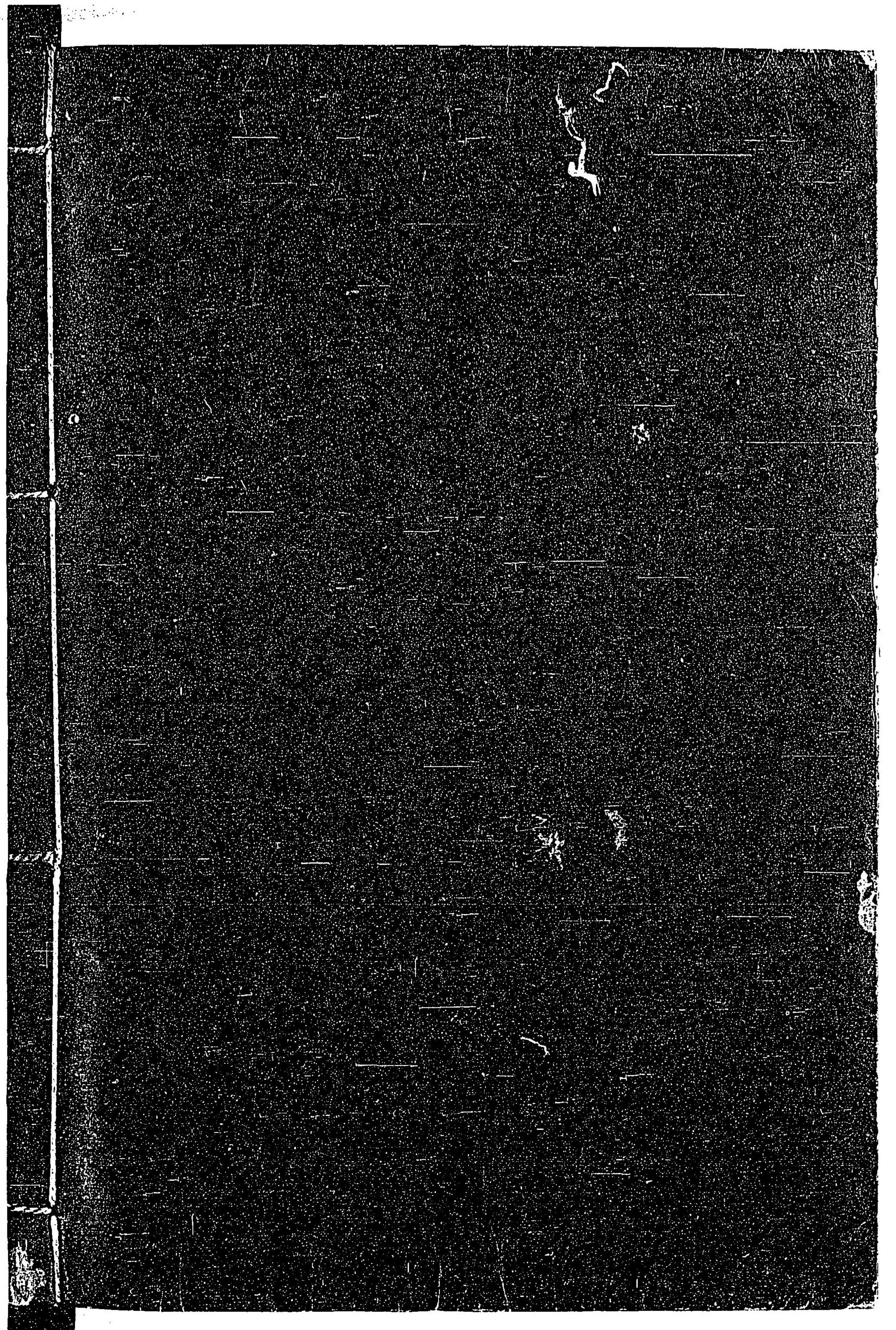
十九 公園ノ花卉ヲ折採シ又ハ其規則ヲ犯
シタル者

二十 田園種藝ノ^{田圃}場所ヲ通行シ又ハ
牛馬ヲ牽入レタル者

二十一 無檢印ノ^凡度量衡ヲ商業上ニ使用シ
タル者

第二百三十八條 各地方ノ便宜ニヨリ施行ス
ル所ノ規則ニ違背シタル者ハ^主犯情ノ輕重ニ

從ヒ一日以上十日以下ノ拘留五錢以上一圓
九十五錢以下ノ料料ヲ處シ又ハ其拘留料



第五節 詐欺取財及ヒ背信ノ罪

第六節 贓物ニ関スル罪

第七節 放火失火ノ罪

第八節 決水ノ罪

第九節 船舶ヲ覆没スル罪

第十節 家屋物品及ヒ動植物ヲ毀壞殘

害スル罪

第四編 違警罪

日本刑法草案

第一編 總則

第一章 法例

第一條 凡法律ニ於テ罰ス可キ所為ヲ罪トス

罪ヲ三種ニ別ク之ヲ重罪輕罪違罪ト為ス

重罪ハ第十二條ニ記載シタル所ノ刑ヲ以テ

罰ス可キ罪ヲ謂フ

輕罪ハ第十三條ニ記載シタル所ノ刑ヲ以テ

罰ス可キ罪ヲ謂フ

違警罪ハ第十四條ニ記載シタル所ノ刑ヲ以

テ罰ス可キ罪ヲ謂フ

第二條 何等ノ罪ト雖モ法律ニ正條ナキ者ハ

之ヲ罰スルヲ得ス